令和６年度　第２回裾野市上下水道事業審議会　会議録及び議事録要旨

日　時：令和６年１０月７日（月曜日）　１０時から１２時まで

会　場：裾野市役所４階４０２会議室

出席者：委員９名（順不同）

・小林　建次　委員（裾野市東地区区長会）

・杉山　 孝　 委員（裾野市西地区区長会）

・田中　正延　委員（裾野市深良地区区長会）

・臼井　正明　委員（裾野市富岡地区区長会）

・杉山　幸彦　委員（裾野市須山地区区長会）

・中川　好大　委員（裾野市商工会） （副会長）

・有井　静子　委員（裾野市消費生活団体協議会）

・大竹　七郎　委員（市民委員）

・齋藤　利晃　委員（日本大学理工学部土木工学科教授） （会長）

事務局　８名

・石井水道部長

・大庭上下水道経営課長

・山田上下水道工務課長

・服部上下水道工務課主幹

・芹澤上下水道工務課主幹

・柏木上下水道経営課係長

・市川上下水道経営課主任

・佐々木上下水道経営課主任

傍聴者：３名

次　第 進行：大庭上下水道経営課長

１　開　会（省略）

２　会長あいさつ（省略）

３　議　事

（１） 審議会の公開・非公開について

（２）　裾野市水道事業、裾野市公共下水道事業及び裾野市簡易水道事業の経営について

（3）　裾野市水道事業経営戦略改定作業の経過について

（4）　裾野市下水道事業経営戦略改定について

（5）　裾野市公共下水道事業基本計画の見直しについての経過について

【議事１】審議会の公開、非公開について

事務局案を説明し委員質疑なし。下記のとおりとなった。

今回の議事については、議事2から議事4までについては、水道事業、公共下水道事業及び簡易水道事業の経営状況の確認や、経営戦略改定の経過報告が主な内容であり、プライバシーに関することや直接的な料金の改定に関する話ではないので、会議は公開。議事5の裾野市公共下水道事業基本計画の見直しに関しては、前回に引き続き区域見直しについての内容となることから、前回同様、政策立案中であり、まだ確定している案件ではないこと、又、下水道事業計画の見直しを行う予定区域の説明をする等、現在の下水道事業計画区域に居住されている方々の利害に直結する内容になる話となる可能性があるため、会議は非公開とし、議事録については要旨公開となった。

『議事の要旨』

令和6年10月7日に開催された第2回審議会では、水道・下水道・簡易水道の3事業の経営状況と課題、ならびに経営戦略の改定について報告と議論が行われた。

**■ 水道事業**

令和5年度の決算では、収益的収支は計画を上回ったが、資本的支出は管路更新の未実施により大幅に未達。老朽化対策として令和7年度に更新計画を策定予定。有収率や施設利用率の低下、職員数の不足が課題とされ、特に技術職の人材確保が急務とされた。

**■ 下水道事業**

収益・支出ともに計画を下回り、特に企業債や補助金の減額が影響。経費回収率が低く、将来的な使用料改定が必要とされた。施設の老朽化や有収率の低さも課題であり、静岡県との連携による改善が求められた。

**■ 簡易水道事業**

収支は概ね計画通りだが、有収率が21％と極めて低く、管路の老朽化（経年化率52.3％）が深刻。更新費用は全て一般会計からの繰入金に依存しており、財源確保が大きな課題。今後の施設延命には限られた予算内での効率的な投資が必要とされた。

**■ 委員からの主な意見**

* 技術職員の減少により、経験の継承や緊急対応が困難になる懸念。
* OBの活用や特別手当による人材確保の提案。
* 経営戦略に人材面の議論が含まれていない点への問題提起。
* 財源確保のため、クラウドファンディングなど新たな手法の検討提案。
* 市民への情報発信と理解促進の重要性。

**■ 経営戦略の改定**

水道・下水道ともに、人口減少や物価上昇を踏まえた10年間の見直しを実施中。水道は令和7年度からの新戦略を策定中で、給水人口と有収水量の減少に対応した財政計画が必要。下水道は県の流域下水道単価改定を待ちつつ、使用料改定の検討が進められている。

４　その他

・次回以降の上下水道事業審議会の日程について

〇　第3回審議会　令和6年11月18日（月曜日）　１５時から 市役所４０１会議室

〇　第4回審議会 令和7年1月21日（火曜日） 10時から 市役所４０１会議室

〇　第5回審議会 令和7年2月19日（水曜日） 10時から 市役所４０2会議室

〇　第6回審議会 令和7年3月4日（火曜日） 13時30分から 市役所402会議室

及び市長答申 14時から市長答申（会場：402会議室）

５　閉　会

以上